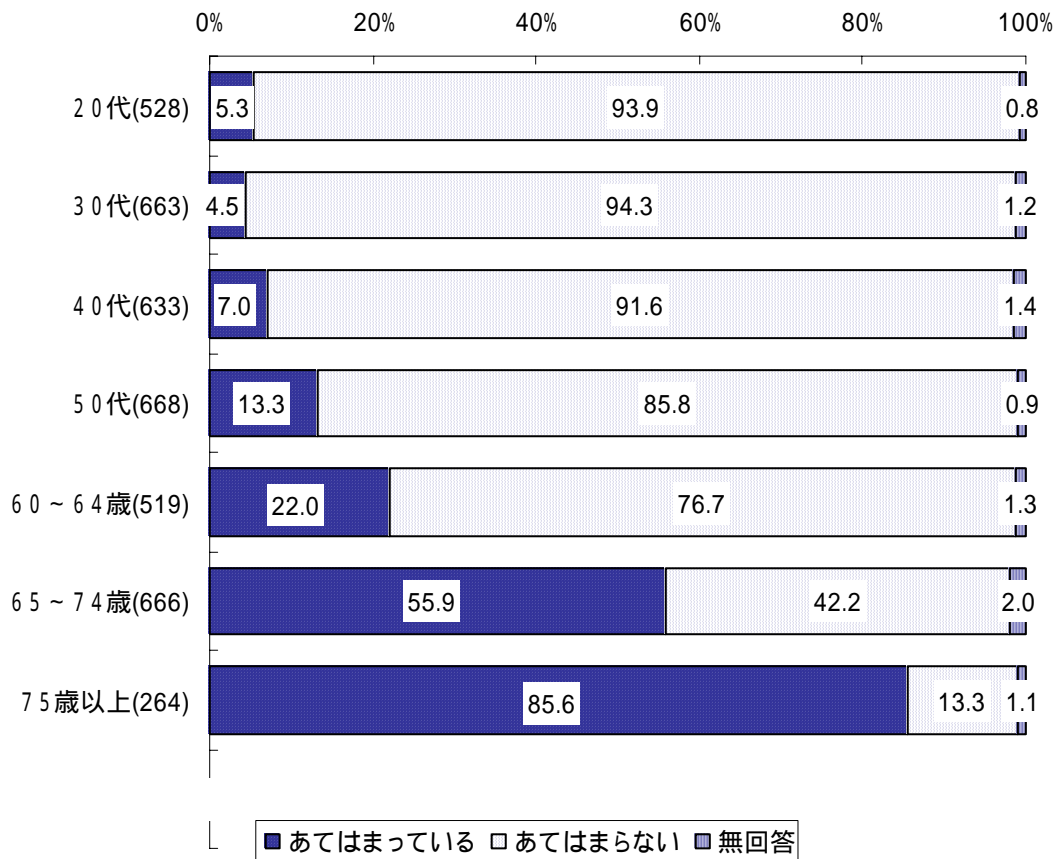


5 高齢者としての認識の有無（Q5）

「高齢者としての認識の有無」についてみると、50代で13.3%、60～64歳で22.0%、65～74歳で55.9%、75歳以上で85.6%が「あてはまっている(自分を高齢者だと思う)」としているが、65～74歳で42.2%、75歳以上でも13.3%が「あてはまらない(自分を高齢者ではないと思う)」としている。

図5 高齢者としての認識の有無（Q5）



健康状態（日常生活への影響）別に見ると、「あてはまっている」は、「（日常生活に）影響がある」で46.6%と割合が高くなっている。

表5 高齢者としての認識の有無（Q5）

	総数	あてはま ている	あてはま らない	無回答
総数	3,941	22.9	75.8	1.3
【性別】				
男性	1,862	24.2	74.5	1.2
女性	2,079	21.7	77.0	1.3
【年齢】				
20代	528	5.3	93.9	0.8
30代	663	4.5	94.3	1.2
40代	633	7.0	91.6	1.4
50代	668	13.3	85.8	0.9
60～64歳	519	22.0	76.7	1.3
65～74歳	666	55.9	42.2	2.0
75歳以上	264	85.6	13.3	1.1
【健康状態】				
影響がある	595	46.6	52.1	1.3
影響はない	3,319	18.7	80.2	1.1